スマートガレージ 操作アプリケーション2 操作説明

株式会社 システムデザイン

画面構成 1

Bluetoothを使用するので、スマートホン、タブレット本体の設定からBluetooth機能をONする必要があります。 iPhoneをご利用の方は、Apple Watchでも操作が可能です。

メイン画面

調整画面

シャッター選択画面



Apple Watch操作画面



シャッター登録画面

CANCEL

2. ガレージ登録方法



3. シャッター調整手順



UPボタン、DOWNボタン等も使えるようになります。



シャッターの調整

- a. スマートガレージの機械部分取り付けた直後の場合、シャッターは全閉状態なので、シャッターを少し開けるためUPボタンを タップしてシャッターを開けます。
- β. シャッターが20~30cm程度開いたところで、STOPボタンをタップして停止します。
 停止したら調整を開始するために再接続します(切断ボタン → 接続ボタン)。
- γ. 再接続したら、調整ボタン
 をタップして調整を開始します。
- δ. まず、シャッター上昇時の調整を行います。

スマートホン画面の下部に「安全を確認して DOWNボタンをタップしてください」を 表示されるので、DOWNボタンをタップしてシャッターを下げて、全閉状態にします。 シャッターが下がると、「閉まりましたか? 確認して UPボタンをタップしてください」と 表示されるので、UPボタンをタップしてシャッターを上昇させます。

ε. シャッターが上昇していくに連れて、右の画像の様なグラフが描画されていくので、 シャッターが止まるまで待ちます。

シャッターが上昇途中で止まってしまう場合は、上昇中の電流制限値を超えているので

シャッター上昇中の電流制限値の設定用のポイント

をグラフの右側へ移動させて

上昇中の電流制限値を上げてから、再度調整を初めからやり直してください。 (ある程度のマージンをとって設定します)

シャッターが上端付近で止まる場合は、

上死点と判定する電流値の設定用のポイント

をグラフの右側へ移動させて、止まらないように調整します。

シャッターが全開するようになったら、設定同期ボタン





ζ. 次に下降時の設定を行います。

DOWNボタンをタップして、シャッターを下降させます。

シャッターが下降していくに連れて、右の画像の様なグラフが描画されていくので、シャッターが止まるまで待ちます。

シャッターが途中で止まらずに全閉状態になった場合は、ここで調整終了となります。

*調整終了の場合は同期する必要はないので、設定同期ボタンのタップは不要です。 シャッターが下降途中に止まってしまう場合には、以下の設定を追加して行います。

・下降途中に止まってしまう場合は、

下降中の電流制限値を超えているので

シャッター下降中の電流制限値の設定用のポイント (縦方向の青の破線)

シャッター下降中の電流変化制限値の設定用のポイント (緑の実線)

をグラフの右側へ移動させて下降中の制限値を上げます(ある程度のマージンをとります)。 ・シャッターが下端付近で止まる場合は、

下死点と判定する電流値の設定用のポイント

をグラフの右側へ移動させて、止まらないように調整します。

調整後に設定同期ボタン をタップして同期をしてから、再度調整を初めから

やり直して、動作確認をしてください。

シャッター下降時にシャッターの引っ掛かり等により、偶発的に制限値を超えてしまい停止することがあります。

その様な状況が発生する場合はリジェクトエリアを使用します。

リジェクトエリア ON/OFF スイッチをON(ノブが右側)にします。

すると、リジェクトエリア設定用のポイントが表示されます。

偶発的に止まってしまう位置(上下方向)に移動させ、左右方向に移動させて、そのエリアが含まれるように範囲を設定します。 設定したリジェクトエリアでは、緑のライン(曲線)の制限値ではなくて、青の破線の制限値で制御します。

調整後に設定同期ボタン

をタップし同期をしてから、再度調整を初めからやり直して、動作確認をしてください。



4. 通常モードでのシャッターの開け閉め



5. Apple Watch操作方法について

